

長野県飯田市で

ナガサキアゲハを目撃

四方 圭一郎

ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* は西日本に分布する大型のアゲハであるが、近年全国的に分布を拡大している種である。長野県においても、2003年ごろから見られるようになり、天龍村では幼虫も確認されている（井原・浜，2004）。筆者は、飯田市において本種を目撃しているのを記録しておく。

1♂，飯田市追手町，18.Sep.2005.

お昼頃，美術博物館の駐車場を飛翔している個体を目撃したが，採集する前に飛び去った。

引用文献

- 井原道夫・浜正彦，2004，長野県におけるナガサキアゲハの発生。まつむし，93，1-2。
(しかた けいいちろう／飯田市美術博物館)

長野県喬木村の

オオセンチコガネの記録

四方 圭一郎

オオセンチコガネ *Geotrupes auratus* は、伊那谷においては中央構造線より東側の南アルプス地域で確認されていた。しかし、中央構造線より西の伊那山地や伊那谷低地部，中央アルプスなどでは、これまで確認されたことが無いと思われる。筆者は、天竜川東側の丘陵地帯で、本種を採集しているのを記録しておく。

1 ex.，喬木村富田（標高640m），1.May.2005，飯田市美術博物館保管。



図1 オオセンチコガネ（スケールは10mm）

休耕田を飛翔していた個体を採集した。この日は別の飛翔中の個体も目撃している。

南アルプス地域においては、本種はニホンジカの糞を主要なエサとしていると考えられる。近年，この地域においてニホンジカの個体数が激増しており，分布も拡大していることが知られている。本種もニホンジカの分布拡大にともなって分布を拡大している可能性が考えられる。

(しかた けいいちろう／飯田市美術博物館)

長野県飯島町の

ラミーカミキリの記録

四方 圭一郎

長野県南部におけるラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* の分布状況については，四方・井原（2000）でまとめ，その後新たに確認された分布について，四方（2001），四方（2003）で報告した。2005年には，さらに北部域で本種が確認されているので報告する。

1♀，飯島町本郷，5.Jul.2005，米山妙子採集，飯田市美術博物館保管。

伊那谷自然友の会の会報「伊那谷の自然」には，飯島町よりさらに北の駒ヶ根市で，2005年6月21日に本種が確認されたことが写真入りで紹介されている（氣賀澤，2005）。伊那谷において，本種はかなりのスピードで分布を拡大している昆虫であるといえる。今後も動向に注意していきたい。

本個体を採集し，飯田市美術博物館まで届けて下さった米山妙子さんにお礼申し上げる。

引用文献

- 氣賀澤和男，2005，ミツマタの葉上にラミーカミキリ。伊那谷の自然，120，16。
四方圭一郎・井原道夫，2000，長野県伊那谷におけるラミーカミキリの分布状況。伊那谷自然史論集，1，35-36。
四方圭一郎，2001，飯田市におけるラミーカミキリの追加記録。伊那谷自然史論集，2，68。
四方圭一郎，2003，伊那谷におけるラミーカミキリの分布に関する新発見。伊那谷自然史論集，4，68-69。
(しかた けいいちろう／飯田市美術博物館)